

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年03月04日

計画の名称	人にやさしく、安心・安全ですみよいまちづくり（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	新発田市												
計画の目標	新発田市地域防災計画において、指定緊急避難場所等に位置付けられている都市公園の防災機能の向上や避難しやすいよう園路等公園施設のバリアフリー化を推進する。 同時に公園施設の改修等を行うことにより、安全で安心できる住みよいまちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	614	A	574	B	0	C	40	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	6.51	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	危険度判定調査により、改修が必要な遊具を有する都市公園を減らし、安全が確保された都市公園を26%（H27）から61%（H31）に増加させる。 危険な遊具のある都市公園改修率（危険度判定調査により改修が必要な遊具を有する都市公園について、改修実績をもとに算出する。） （安全が確保された都市公園改修率）=（安全が確保された都市公園数）/（都市公園数）	26%	36%	61%
2	公園一人あたりの面積は、全市で16.5㎡/人となっており、整備水準は満たしているが、海岸部には、津波に対する一時避難施設が必要となっている。一時避難場所となる防災仕様の公園を整備し、避難人口を0人から150人に増加させる。（有効避難面積目標300㎡） 海岸部の公園を防災仕様に改築する。 （避難計画人口）=（有効避難面積）/（一人当りの有効避難面積） 計画の目安 2㎡/人	0人	0人	150人

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---

交付金の執行状況

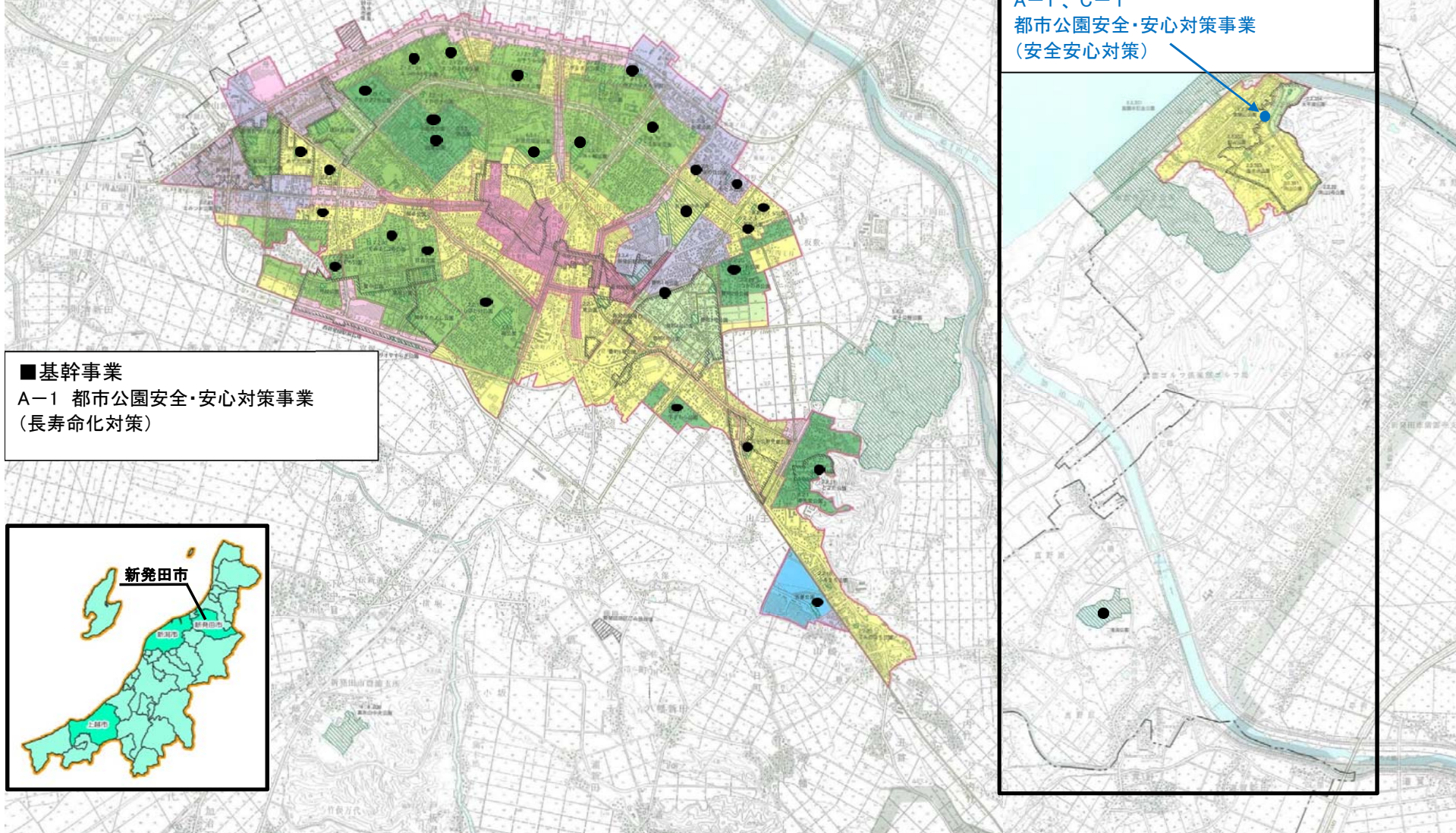
(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	100	0	8	20	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	100	0	8	20	
前年度からの繰越額 (d)	100	8.5	0	0	
支払済額 (e)	191.5	8.5	8	9.1	
翌年度繰越額 (f)	8.5	0	0	10.9	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	10.9	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由				地域住民との調整に不測の期間を要したため。	

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	人にやさしく、安心・安全ですみよいまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	新発田市

社会資本整備総合交付金概要図(H27~31)
人にやさしく、安心・安全ですみよいまちづくり(防災・安全)



■ 基幹事業
A-1 都市公園安全・安心対策事業
(長寿命化対策)



■ 基幹事業・効果促進事業
A-1、C-1
都市公園安全・安心対策事業
(安全安心対策)

事前評価チェックシート

計画の名称： 人にやさしく、安心・安全ですみよいまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 ・上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域課題と整備計画の目標の適合性）	
I. 目標の妥当性 ・地域の課題を踏まえた整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・計画の目標と定量的指標が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 ・定量的指標がわかりやすい内容になっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ・計画の目標と事業内容が整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 ・事業の効果の見込みが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 ・住民等の合意形成が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

・住民等の活動や関連事業等と連携している。

○